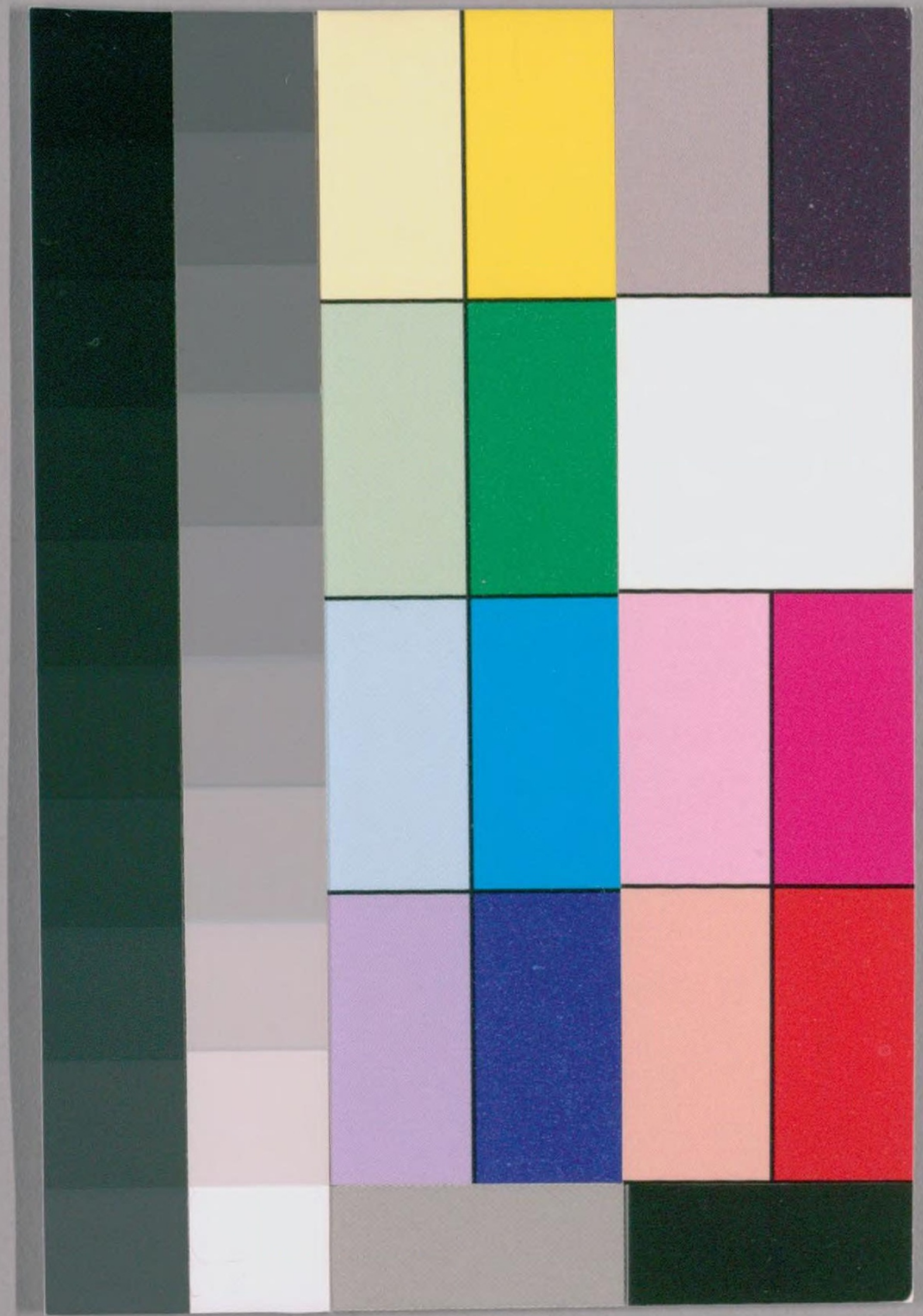


858
14

茶事派名志

取組
注意
輸入



国立国会図書館 タイトル『茶事派名志』 請求記号 858-14

ガラス使用

一 府表甲身中 風呂手前之事

風呂の小板の白の等の八の分の。脇の之の為の目の教の九の分の至

日 大板の向の部の八の分の。脇の之の目の教の九の分の至

但は其の日の期の目のヨリの八の月の晦の之の風の爐

冬の九の月の朔の目のヨリの三の月の晦の日の之の爐

一 風爐の平の手の前の水の在の勝の舟の之の事

先の水の卷の手の外の拵の水の在の水の拵の九の分の入



茶碗茶中茶葉は、水を通し茶碗の内茶巾
 茶葉を入茶杓もろろ向を重。水コホ
 之内茶葉重を入湯杓もろろ白杓、茶巾
 夫不地、手は好む、帛巾、心、先か、心
 入

風長重村
 風長重村の茶巾

但、茶巾、時、茶杓、茶葉、茶巾、茶葉、茶巾、茶葉

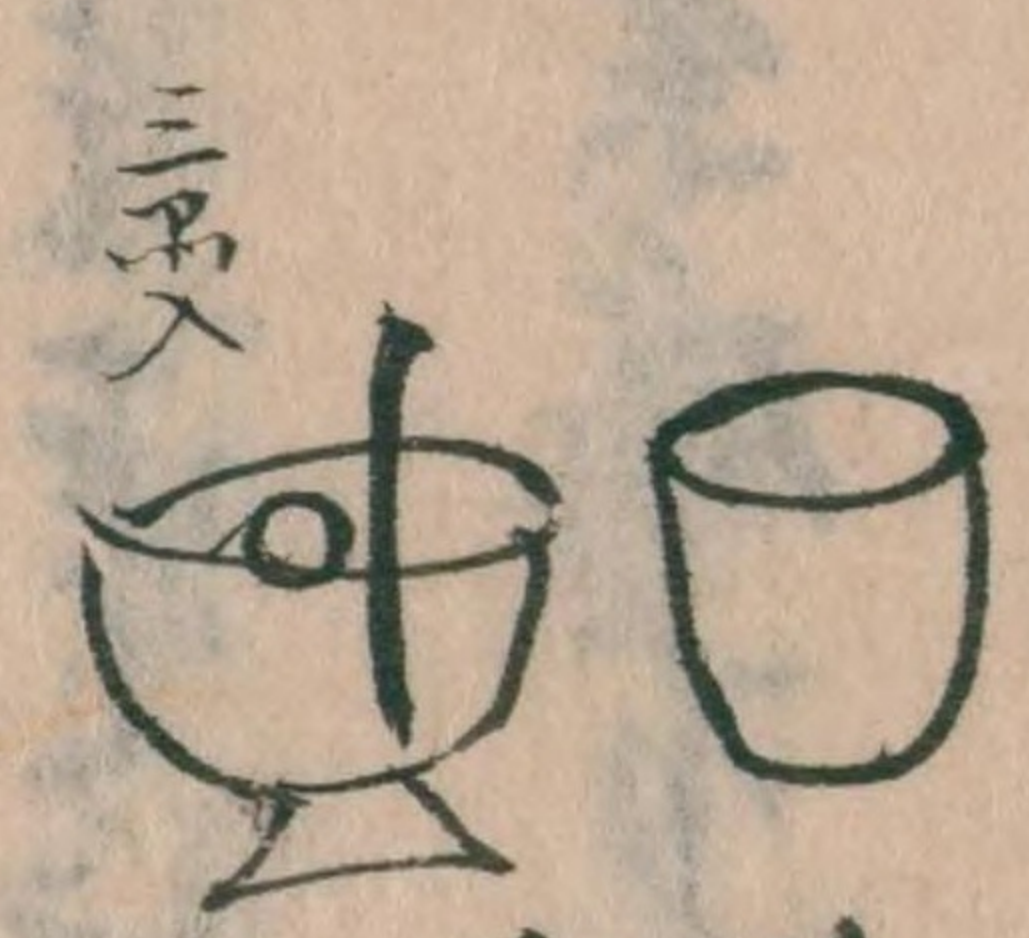
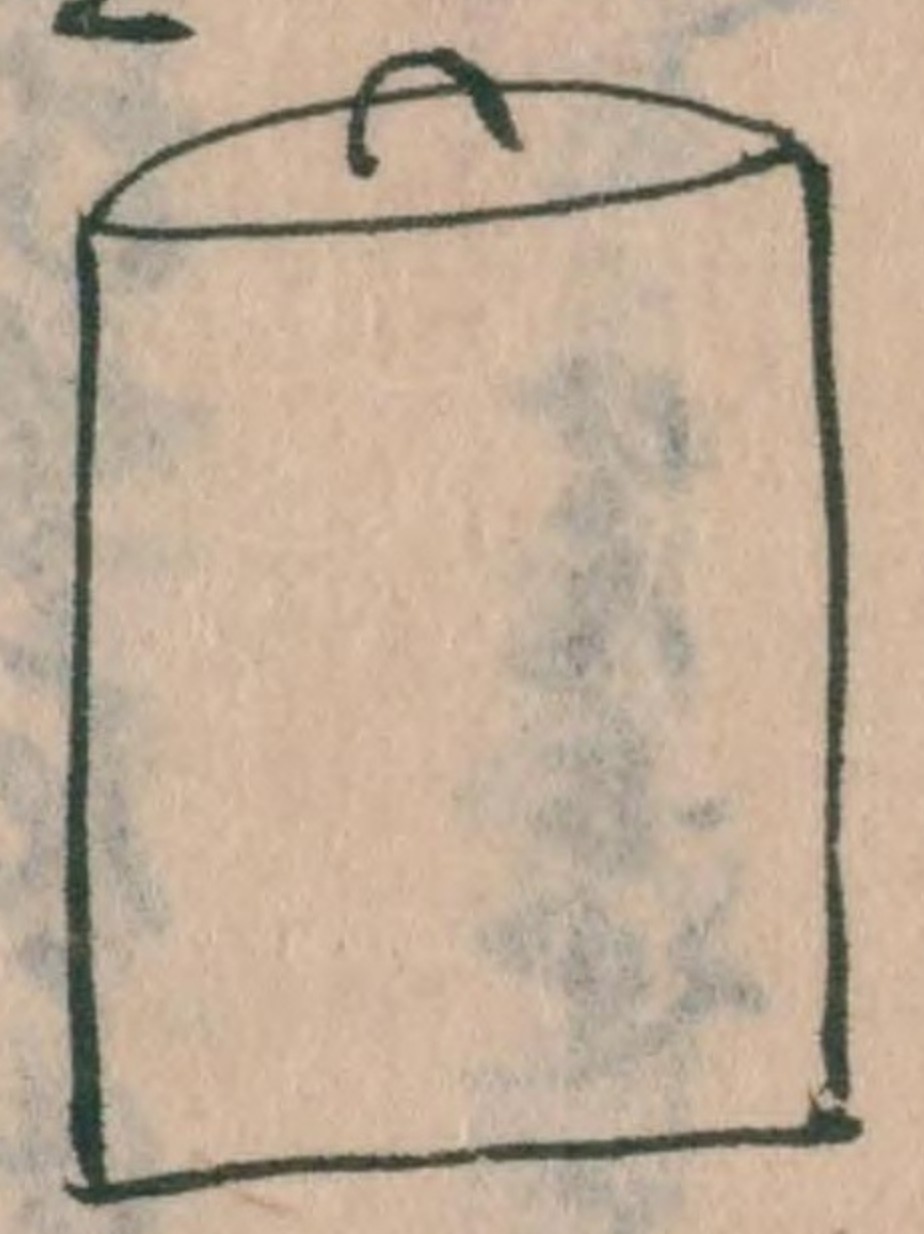
△風長重村

一、茶杓、茶葉

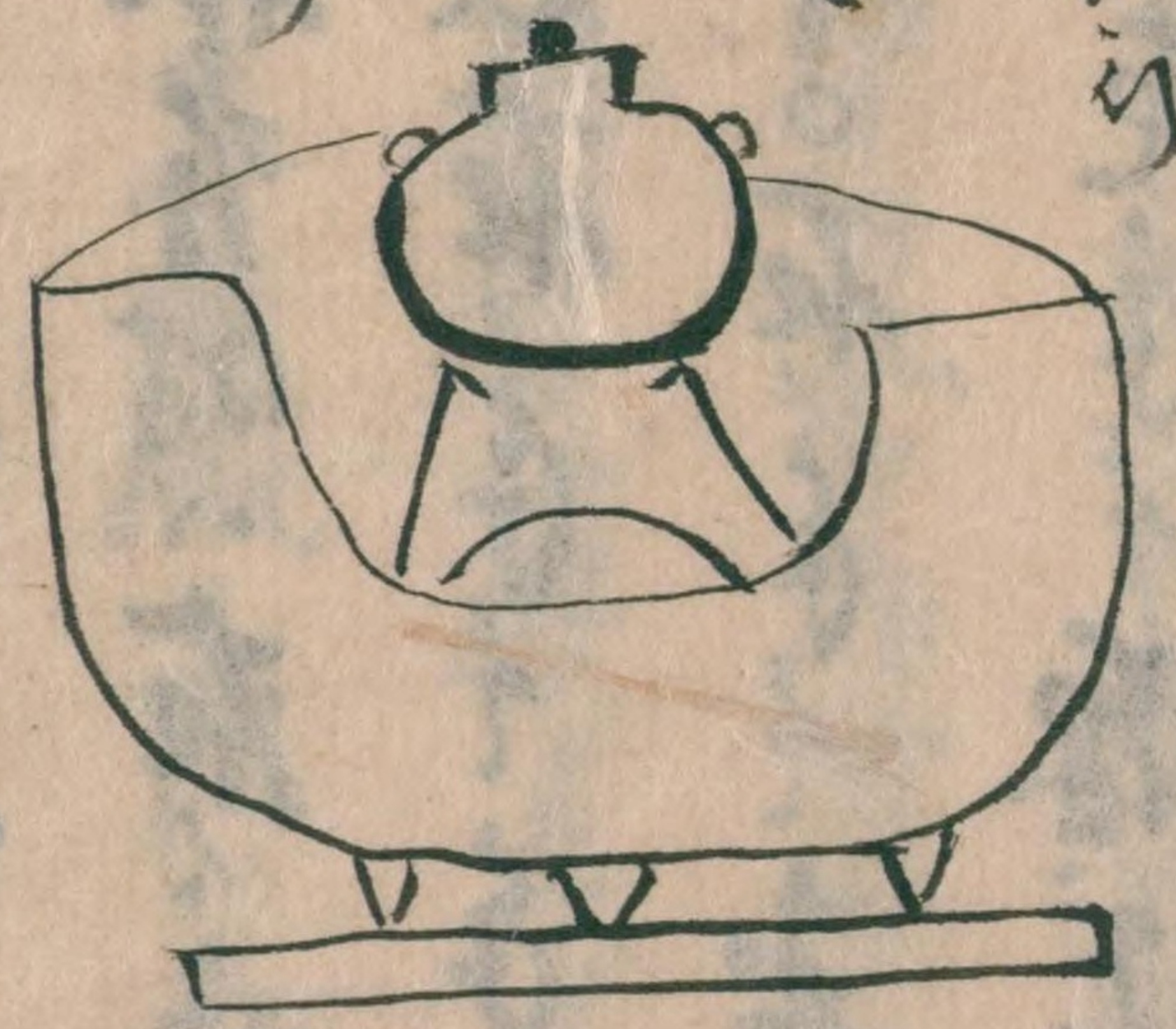
二、茶葉、茶巾

三、茶葉、茶巾

茶葉、茶巾、茶葉、茶巾



茶葉、茶巾、茶葉、茶巾



茶葉、茶巾

茶葉、茶巾、茶葉、茶巾



茶葉懸杯之事

先ヶ杯有付ハ右手ヲ茶碗を右方手ツカ
ハ右方手有手そ手前ノ中ニ茶葉ノ前ニ茶
碗ニ垂付。右手そ手前ツカ茶葉ノ前ニ垂向
垂付。右手そ手腰ニ付居ル帛ヲカハキニテ
右手持留右手そ手前ツカ持留帛ニテ

フキ 茶葉懸杯

先達茶碗有品別茶葉

又帛掛ニテ茶葉杯を右手そ手前ツカ
持留右手そ手前ツカ茶葉懸杯有手そ手前ツカ
先達茶碗有品別茶葉有手前ツカ
帛ノ帛ヲ茶葉杯ニ付居ル帛ヲカハキニテ
右手持留右手そ手前ツカ持留帛ニテ
上ツケ茶葉碗ノ内ニ入有テ茶葉中右手そ手
持留。茶葉懸杯有手前ツカ持留帛有



右の茶湯を吸。茶碗、内は石沓アケ枡
空上を以て存もそ茶先ヲ丸碗入
茶先廿八キニテ茶先元を割ト主付存
そ茶碗、右左の茶湯ヲホシトアケ右
その茶中ヲ丸茶碗ノ中ト入碗内そ中を
アゲノハシ茶碗ノフチトホを。右の茶ヲク
クルニツキフキニして又碗内中ヲ入中ツク

印字ナリニツキ。茶^中入ナカラ碗内主右
の茶中そ茶中丸茶碗ノ上ニアケ
又存もそ茶中丸茶碗ノ上ニアケ
茶中丸茶碗ノ上ニアケ。右の茶湯ヲ
茶中丸茶碗ノ上ニアケ。右の茶湯ヲ
茶中丸茶碗ノ上ニアケ。右の茶湯ヲ
茶中丸茶碗ノ上ニアケ。右の茶湯ヲ
茶中丸茶碗ノ上ニアケ。右の茶湯ヲ



そ抄うた指

格致
はた

湯種張碗入抄客二

右子そ茶先右張入左子そ張力入

茶う熱他茶色
張中も力也ト唱サハ格二張客右子汁

茶張子そそ、中解お茶

客種茶名、出方ヶとあるせこカトヤ

順表先茶のけりヶとあり

又神友、出方ヶとありト云々

二つある云々神友茶の張元白茶二あり

亭より座、活古う張名吾口を引之膝の前

至湯が入右子そ茶先右張入左子そ

湯を茶二、中丸フキ茶を左張入

前へ進力右張種張の。右分先は茶

以茶客張り亭より張右
文茶も、張も力カク

但表分種茶二あり

亭より張、湯う又ト茶トカサケ出付
茶二張り、右とありトあり



伝乘秘之書

右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...
右分處... 是年... 宗族... 右子... 左...

宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...
宗族... 右子... 左...



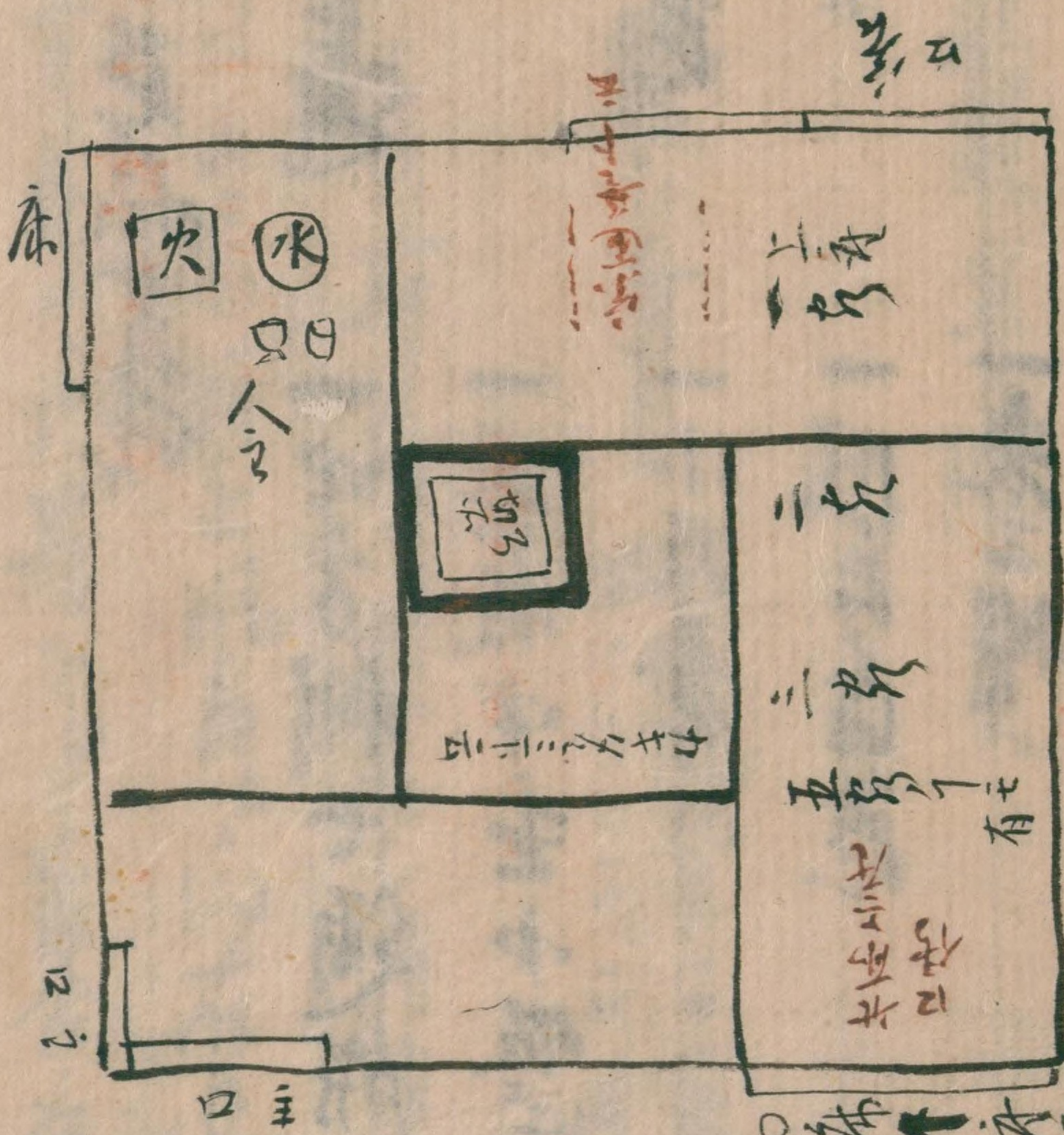
右手をアコライ水を釜に即ち投入
右手より左手へ移る右手にて釜蓋
又右手に手より釜蓋を移る右手に
多移り釜蓋を持右手にアコライ水持蓋を
する也

結露ハコト極事

右持蓋は右手に移り右手に蓋
を移り右手に持る中、水コホシ持蓋
入るなり。釜蓋を移る右手に持る入るなり
水持毛持る膳子入るなり

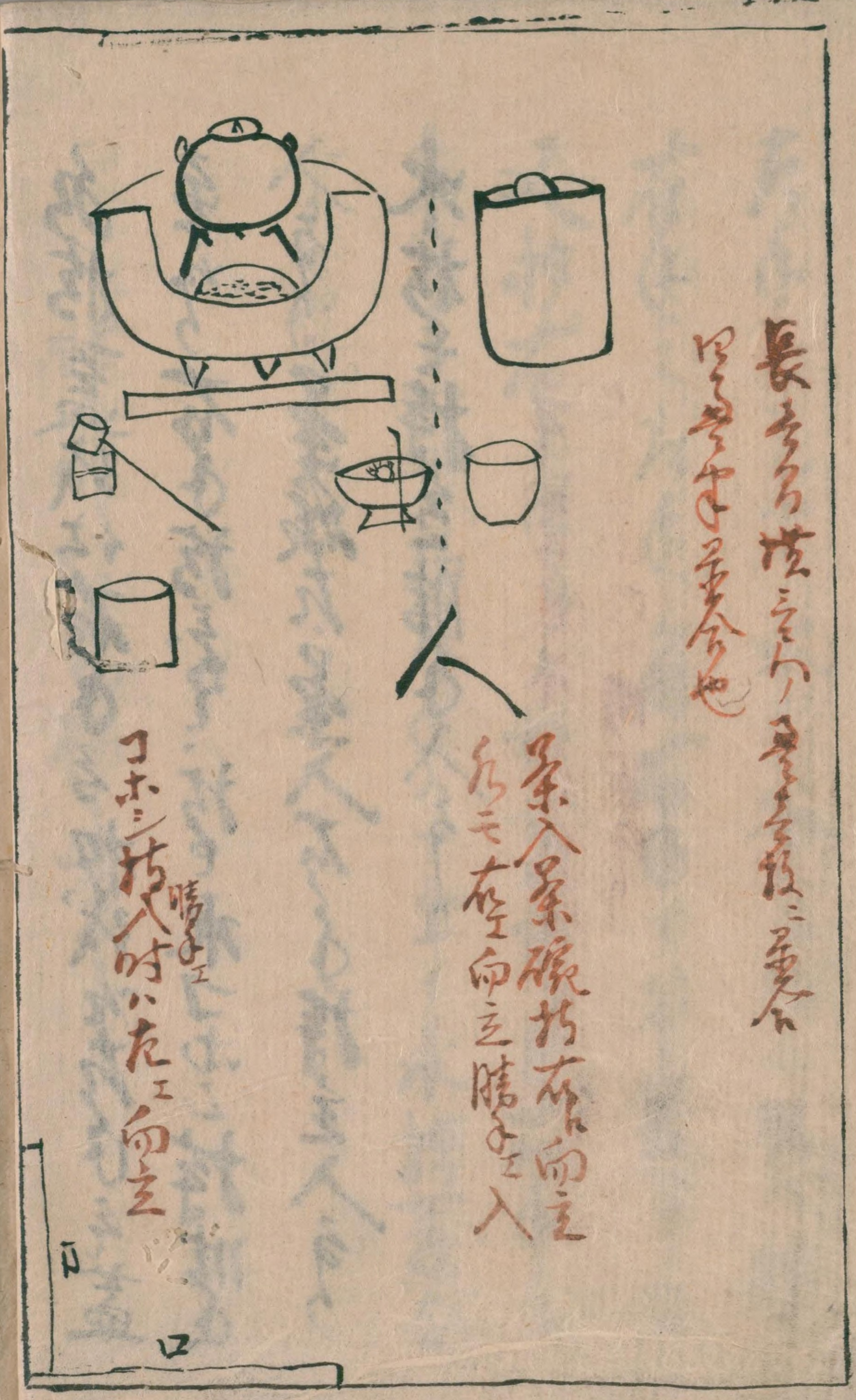
此の如く退居の音は右手に云テ致す
右手に移り膳子入るなり





室多中茶室の風流

茶室の風流
茶室の風流
茶室の風流



長き方茶室の風流
茶室の風流

茶室の風流
茶室の風流

茶室の風流
茶室の風流

茶事派名志

一 九早膳通

一 四方棚七通膳分

一 長板

一 長板中至小板まで有

一 桐栴棚並張

一 小及び巻

一 利休寺古

一 風呂並張

一 装棚

一 光之棚

一 産云月

一 竹巻子

一 十六條真基子ノ茶事ハ秘傳云云

為子條合或自亦妻之條ト云

風爐炭之事

但 風爐風呂。多良風呂炭
付極之者炭傳アリ

先帛腰トケ傳レ右ノ子ト炭ヲ持テ左ノ子ト芝

持リ並分。平帛持テ風呂ト向テ右ノ子ト好

幕ヲ下ニ垂ル子ト大着下ニ。曹合ヲ並分

クハニ在ル地有手一持。有子之令ノ蓋ヲ蓋
有んヲ在存子之令有ムヲ有存子之令
有んヲ有存子之令有ムヲ有存子之令
汗脇ニ垂牙有手之羽帯持風短フ子
拂込。羽帯山席九ト有クイ冬ニ垂牙右
手之出著ル地持。出著ル地持イタニ有子之
出著ル地持九ト有子之羽帯持風短

フ子之ハキ羽帯山席九ト有子之令

九市目ヲクハ市目長出席九ト有子之令

夫ハクハニ有子之令有子之令

手前我風短日向有子之令有子之令

を引すハリを見ても子之令有子之令

入る子之令クハニ有子之令有子之令

汗之持子之令有子之令有子之令

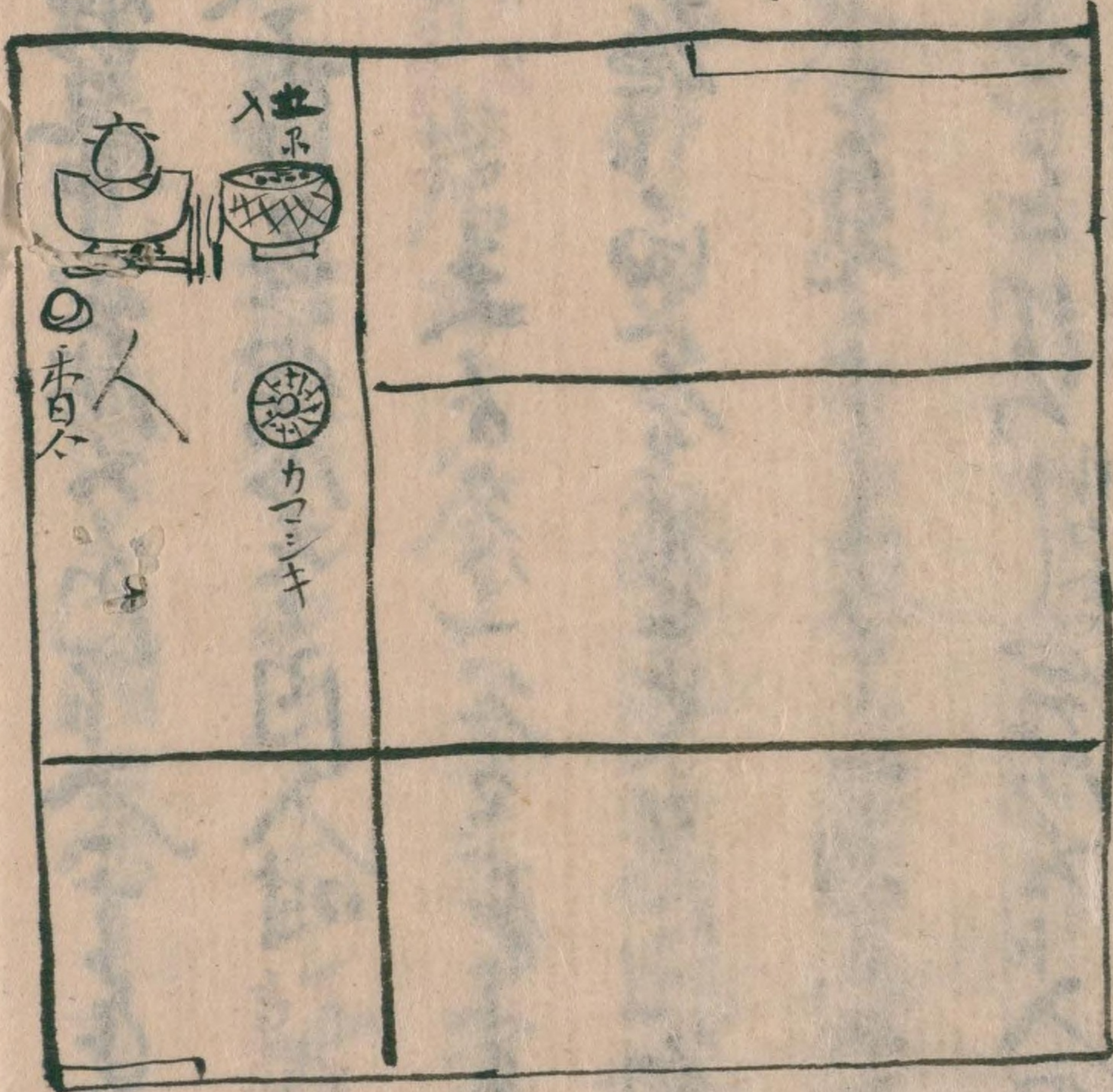
此段ハハキノ有子之令有子之令

此段ハハキノ有子之令有子之令



白紙茶室炭

口



口

諸物三寸法アリ

一利休居茶室茶巾布も七寸切まり

ぬすの者さハぬせり 但彼部遠州云いん遠

一谷あそ、布も四方七寸

巾体長三寸幅三寸アリ

風爐三寸法アリ

一巻原草中、又三寸七寸小口三寸五分各

割出尔亮中三守下名守守

○三守名輪炭炭後守守也

白以婦しり

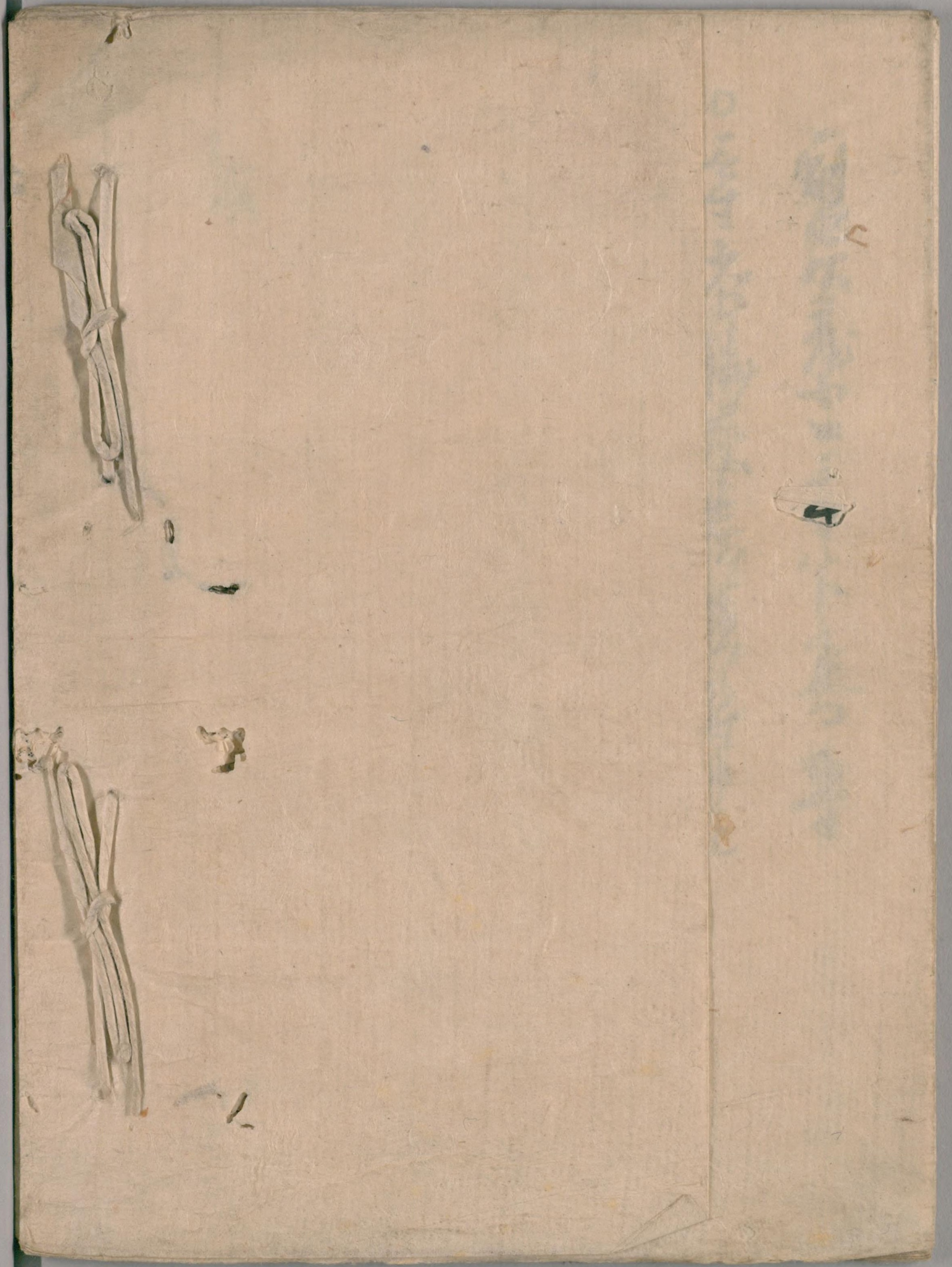
一十文字能のちり〜彼の輪炭炭後守守

割出尔亮中三守下名守守

輪炭炭後守守也

輪炭炭後守守也

右



国立国会図書館

タイトル『茶事派名志』 請求記号 858-14

ガラス使用